

記者発表資料（資料配付）			
日付	担当課	担当者	その他配布先
5月18日	(公財) ひょうご震災記念 21 世紀研究機構	坂田管理部長 (078)262-5580	無

**「中国・四川大地震復興支援 兵庫神戸委員会」の解散並びに
「四川省社会科学院との学術交流合意書の締結」について**

1 経緯

「中国・四川大地震復興支援 兵庫神戸委員会」（ひょうご震災記念 21 世紀研究機構理事長 貝原 俊民 代表）は、兵庫県・神戸市ほか 20 団体の参加のもと、2008 年 6 月 10 日に設立され、これまで約 3 年間に、阪神・淡路大震災の経験と教訓を踏まえた知見の提供や研修団の受け入れなどの諸活動を展開してまいりました。

このたび、中国・四川省成都市で開催の「全国日本経済学会 2011 年年会」（主催：四川省社会科学院）に貝原代表が招かれ、特別講演を行うことになり、それに併せて同委員会では交流団を 5 月 7・8 日の日程で派遣しました。

2 「中国・四川大地震復興支援 兵庫神戸委員会」の解散について

四川省では、政府等の関係者と面談し、既に復旧もほぼ達成され、今後の復興に向けて更なる取り組みを進めていることから、同委員会の所要の役割を達成したと判断し、設置から 3 カ年を迎える本年 6 月をもって同委員会を解散することについて合意をいたしました。

今後は、中国四川省政府等から要請があれば、各関係機関で個別に支援や交流を行うこととします。

(1) 活動状況 別紙 1 のとおり

(2) 解散の日時 平成 23 年 6 月 10 日（設立：平成 20 年 6 月 10 日）

3 四川省社会科学院との学術交流合意書の締結について

四川省社会科学院の侯水平院長から、本機構と学術交流を行っていききたいとの申出があり、今後、社会科学分野及び災害学分野において交流を行っていくことで、別紙 2 のとおり合意書を締結するとともに、その第一弾として、「災害対策全書」の必要部分を本機構が中国語に翻訳し、四川省社会科学院側で出版することを確認しました。

「中国・四川大地震復興支援 兵庫神戸委員会」 の活動状況について

1. 設置の趣旨

中国・四川大地震の被災地の復旧・復興にあたり、阪神・淡路大震災の経験や教訓を踏まえた知見の提供などを行うため、2008年6月10日に別紙のとおり同委員会を設置し、約3年間にわたり中国政府等の要請に応じて支援を実施してきた。

2. 主な活動歴

(1) 復興関係資料の贈呈

2008年6月12日、首相官邸にて貝原代表が崔天凱駐日中国大使に「阪神・淡路大震災の復興関係資料」を贈呈した。（別添写真のとおり）

(2) 視察団の受入

2008年7月9日、日中首脳会談において、中国・四川大地震の復興計画について、日本政府調査団と中国関係部局との協議の結果を踏まえ、今後、日中間の協力を推進していくことで一致し、3回にわたる視察団が訪日（延べ203名）。国関係省庁、新潟県及び兵庫県を訪問し、関係者との意見交換、復興の状況や防災施設等の視察を行った。

訪日年月日	団名	人員	団長・副団長
2008.7.31 ～8.2	中国政府震災復興視察団	44人	団長：住宅都市農村建設部副部長 仇保興 副団長：四川省幹部教育学会副会長 王川
2008.12.14 ～20	中国四川ブン川地震復興 日本視察団	81人	団長：住宅都市農村建設部副部長 斉驥 副団長：国家行政院副院長 洪毅
2009.1.11 ～17	中国四川ブン川地震復興 日本視察団	79人	団長：住宅都市農村建設部副部長 郭允冲

(3) こころのケア人材育成プロジェクトの実施（JICA）

医療・心理・教育・社会活動等の多分野にまたがるケア活動従事者の育成やモニタリング体制の確立等を通じ、地域に根ざした継続的なケア実施体制を整備するため、2009年6月から5年間にわたる「こころのケア人材育成プロジェクト」を実施しており、2年間で延べ532人の人材育成を行った。

(4) 2009年9月16日、井戸知事が四川省政府を訪問し、その後、中国四川省地震兵庫県義援金プロジェクト協定書交換式に出席。復興状況説明を踏まえ魏宏副省長と会談し、こころのケアなど復興に向けての支援・協力についての意見交換及び復興状況の現地視察を行った。

3. 3年間の活動実績

(1) 研修団等の受入（訪日）33回

研修等の実施（11回）

視察団等の受入（22回）

(2) 現地調査等（訪中）35回

現地調査（14回）

会議・研修会への参加（15回）

こころのケア研修会等の実施（6回）

4. 経過報告 別紙のとおり

H23. 3月末現在

「中国・四川大地震復興支援 兵庫神戸委員会」経過報告

日付	兵庫神戸委員会及び構成団体の取り組み等
H20.5.12	Relief web (http://www.reliefweb.int) で情報発信を開始 (OCHA)
H20.5.20	「災害看護命を守る知識と技術の情報館」サイトで中国・四川大地震の被災者や看護専門職向けの中国語 HP 開設 (http://www.coe.cnas.jp/china/index.html) (兵庫県立大学地域ケア開発研究所)
H20.6.10	第1回運営委員会開催 ・「中国・四川大地震復興支援 兵庫神戸委員会」の設立 ・「阪神・淡路大震災の復興関係資料」骨子の検討 ・阪神・淡路大震災復旧・復興に関わるアンケート内容の検討
H20.6.10~14	UNCRD による四川省現地調査 (綿竹市・都江堰市)、清華大 (北京) 等
H20.6.12	首相官邸にて、崔駐日中国大使に「阪神・淡路大震災の復興関係資料」を贈呈
H20.6.12	外務省等から「阪神・淡路大震災」に係る各種資料の提供を求められる (関係資料の提供)
H20.6.13	四川省人民政府から礼状が届く
H20.6.14~18	「中国・四川大地震経済被害調査視察団」現地調査団を派遣 (団長: 神戸大学都市安全研究センター田中泰雄教授)
H20.6.15~	中国・四川大地震復興支援兵庫神戸委員会 HP 立上げ 関係資料の随時掲載、関係機関の HP とのリンク
H20.6.15~7.23	神戸大学より現地調査団を 11 回派遣 (神戸大学都市安全センター及び工学研究科)
H20.6.16	人防・アジ防現地調査報告
H20.6.19~	世界銀行の「阪神・淡路大震災」に関連する資料収集への対応 (各種資料提供)
H20.6.27	持続的復興支援の方法について懇談 (日本中国アジア経済戦略フォーラム・神戸華僑総会・孫中山記念会)
H20.6.28~12.13	神戸大学都市安全研究センターがオープンゼミナール「四川大地震災害報告会」を開催 (第1回6月28日/第2回7月26日/第3回10月25日/第4回11月29日/第5回12月13日/オープンゼミナール「四川大地震災害報告会」を開催)
H20.6.30	鈴木博明 世界銀行本部 中国・四川大地震対策責任者 来県 貝原支援委員会代表を訪問 第1回幹事会開催 ・鈴木博明 世界銀行本部 中国・四川大地震対策責任者からの情報提供 ・国による復興支援スケジュール等報告 ・アンケート内容の説明
H20.7.1	国際緊急援助隊員の帰国後のこころのケア対策に係る JICA とこころのケアセンターとの協定の締結

H20.7.1～5	復興支援委員会メンバーが「日中復旧・復興支援セミナー」(人防,JICA,中国政府主催)へ参加 貝原支援委員会代表へ報告(7月9日)
H20.7.1～25	阪神・淡路大震災復旧・復興に関わるアンケート調査実施
H20.7.5	復興支援中国語版HP制作立ち上げ会 (日本中国アジア経済戦略フォーラム・神戸華僑総会・孫中山記念会)
H20.7.7	GTZ・国家発展改革委によるブン川地震災後復興国際研究会(北京)にUNCRDが参加し、日本・世界の経験を発表
H20.7.12～13	齋藤副知事が四川省復旧復興状況調査を実施
H20.7.14～15	齋藤副知事・UNISDRが国連主催の震災後の復興経験に関する国際ワークショップ(北京)に参加
H20.7.31～8.2	中国政府震災復興使節団来県 貝原支援委員会代表を訪問(8月1日) 華人教授会から使節団に対し中国語訳した資料を提供(8月1日) 中国政府震災復興使節団知事表敬及び復興説明会開催
H20.8.2～5	UNCRDが神戸大・名工大による四川大地震経済復興調査団(綿陽・成都)に調査団として参加
H20.8.10	復興支援中国語版HP制作第2回会議 (日本中国アジア経済戦略フォーラム・神戸華僑総会・孫中山記念会)
H20.8.29	中国人民大学と共催で防災人材養成講座を2009年実施提案 (日本中国アジア経済戦略フォーラム)
H20.9.1	日本国際貿易促進協会経由で四川復興国際ビジネスセミナー(10月25日)に講師派遣要請(日本中国アジア経済戦略フォーラム)
H20.9.13～14	四川復興慈善バザー開催(舞子公園内) (日本中国アジア経済戦略フォーラム・神戸華僑総会・孫中山記念会)
H20.9.16	神戸大学都市安全研究センターが成都理工大学と震災・復興研究に関する学術協定を締結
H20.9.17	「中国・四川大地震復興支援 兵庫神戸委員会」第2回幹事会・運営委員会開催 ・委員会のこれまでの活動について ・阪神・淡路大震災復旧復興に関わるアンケート調査実施結果
H20.9.24	外務省へ復興支援中国語版HPを説明(日本中国アジア経済戦略フォーラム)
H20.10.12～17	UNCRD兵庫事務所長が北京で開催の第14回世界地震工学会議(14WCEE)に参加し、建築基準セッションで司会及び発表。四川地震報告書等を収集
H20.10.21	中国青年指導幹部訪日研修団(中央党校)への講義(JICA・人防センター) 齋藤副知事を表敬訪問
H20.10.24	UNCRDがEAROPH(東方地域都市計画住居機構)世界会議に四川省関係者を招待
H20.10.27～31	Zigong(ゾーゴン)市及び北京市での「RADIUS plus 10」プロジェクト評価ミッションにUNISDRが参加

H20.10.28~11.3	中国教育省（教育部）開発計画局と UNICEF による学校安全調査団が来日 貝原支援委員会代表、兵庫県教育長を表敬訪問（10月31日）文部科学省表敬、耐震 改修視察場所等を UNCRD が調整
H20.11.3	神戸大学が「北京神戸大学デー」において、講演会「四川大地震と阪神・淡路大震災 から学ぶもの」を開催 神戸大学都市安全研究センターが清華大学都市計画設計研究院と震災・復興研究に関 する学術協定を締結
H20.11.7	中共中央弁公室派遣中国高級公務員管理研修団への講義 （日本中国アジア経済戦略フォーラム）
H20.11.9~15	四川復旧・復興支援「被害者に対するこころのケア支援」プロジェクト形成調査を実 施（JICA・こころのケアセンター）
H20.11.12	アジア防災・減災ネットワーク（中国語・日本語 HP 開設） （ http://www.asiabosai.net/article/index.html ） （日本中国アジア経済戦略フォーラム・神戸華僑総会・孫中山記念会）
H20.11.13	第3次中国青年代表団人防見学（日本中国アジア経済戦略フォーラム）
H20.11.13~18	四川テレビ「阪神・淡路大震災」被災地取材・撮影 貝原支援委員会代表へのインタビュー（11月17日）
H20.11.19	「中国・四川大地震復興支援 兵庫神戸委員会」第3回幹事会開催 ・委員会のこれまでの活動について ・中国四川省復興訪日視察団の受入に係る事業の受託について ・兵庫神戸委員会設置要綱の一部改正について
H20.11.20	中国・四川大地震こころのケア支援プロジェクト形成調査に係る調査団員帰国報告
H20.11.26	中国大学生人防センター訪問
H20.12月上旬	UNCRD 兵庫事務所研究員等による四川省現地調査（地域復興及びコミュニティ調査）
H20.12.14~20	中国四川ブン川地震復興日本視察団（第1班）80名が訪日し、兵庫県や新潟県を視察 兵庫県訪問：12月15日~16日 ■兵庫県知事・神戸市長表敬・神戸市内復興現場視察・広域防災センター、Eーディ フェンス視察・兵庫神戸支援委員会と視察団との交流会開催（15日） ■兵庫神戸支援委員会貝原代表表敬、人防センター視察（16日）
H21.1.5~	兵庫県立大学地域ケア開発研究所が、中国・四川大地震の被災者2千人の健康状態に ついて、5年間にわたる追跡調査を開始
H21.1.11~17	中国四川ブン川地震復興日本視察団（第2班）79名が訪日し、兵庫県や新潟県を視察 兵庫県訪問：1月13日~14日 ■兵庫県知事表敬・神戸市内復興現場視察・広域防災センター、Eーディフェンス視 察 兵庫神戸支援委員会と視察団との交流会開催（13日） ■神戸市長・兵庫神戸支援委員会貝原代表表敬、人防センター視察（14日）
H21.1.19	UNCRD・読売新聞等による国際防災シンポジウム「世界の防災地域づくり」にて、 四川の地域復興事情について報告

H21.1.29	神戸大学が四川省地質調査院と「龍門山地震帯地震断層と地震破壊研究—都江堰（とこうえん）市伏在断層の探査」に関する共同研究を行う
H21.2.6	神戸大学理学部宮田教授と四川省地質調査員 3 名が人防センター訪問
H21.2.9~10	「減災のための三大学合同シンポジウム—神戸、ジャワ中部、四川地震より学ぶ—」を開催 詳細→ http://www.rcuss.kobe-u.ac.jp/symposium09020910rep.pdf
H21.2.21~27	四川復旧・復興支援こころのケア支援第 2 次プロジェクト形成調査に係る調査団派遣（JICA・こころのケアセンター）
H21.2.24	神戸大学工学部、大学院工学研究科および都市安全研究センターと西南交通大学土木工程学院および建築学院との間の学術交流協定を締結
H21.3.7~12	人と防災未来センター（河田センター長、他 6 名）が四川地震被災地復興状況調査を実施
H21.3.8~19	四川省関係者を対象に本邦研修「円借款事業防災研修」を実施（JICA）
H21.3.9~10	第 2 回日中科学フォーラム「ブン川地震と防災科学技術」に貝原支援委員会代表が出席し、「自然災害対策のあり方—阪神・淡路大震災の経験から」をテーマに講演
H12.3.10~13	北東アジア地域自治体連合第 7 回防災分科委員会の開催（主催：兵庫県）
H21.3.11	「阪神・淡路大震災と四川大地震との事例比較セミナー」開催（主催：兵庫県）
H21.3.27	兵庫県立大学地域ケア開発研究所と四川大学が、中国・四川大地震の被災者の健康状態や生活状況についての合同調査報告会を開催
H21.4.7~9	国四川省建設庁、広東省建設庁等が主催の『映秀復旧復興国際フォーラム』が中国四川省成都市にて開催され、ADRC が共催機関の一つとして参加。「阪神・淡路大震災からの教訓—コミュニティ防災能力強化」「日本の耐震補強促進策及び耐震補強技術」をテーマに発表
H21.4.10	神戸大学大学院(国際文化学研究所)王柯教授が四川大地震復興の参考に阪神・淡路大震災復興記録の中国語版を翻訳出版。10 部贈呈を受け、国際プラザ書架、関係団体機関等関係団体に配付
H21.4.25~5.1	中華人民共和国「四川大地震復興支援—こころのケア人材育成プロジェクト」詳細計画策定調査団を四川省成都市及び周辺被災地へ派遣（JICA）
H21.4.29	UNCRD と CODE（海外災害援助市民センター）が四川大地震合同報告会を開催
H21.5.12	第 2 回 DRI 防災セミナー「阪神・淡路大震災の教訓と四川地震」を開催（主催：兵庫県、人と防災未来センター、等）
H21.5.15	減災報道研究会 「四川大地震の被災地における取材活動～ある番組取材班の反省と教訓～」(人と防災未来センター)
H21.5.24~28	2009 年笹川日中友好基金事業「災害マニュアル作成支援及びアジア防災減災ネットワーク形成」日中両国の専門家が協同で研修カリキュラムを作成するにあたり先遣団が来日（日本中国アジア経済戦略フォーラム）
H21.5.28~29	中国四川省成都市にて開催された、中国民政部及び同外交部主催の『ASEM(Asia-Europe Meeting、アジア欧州会合)ワークショップ』に ADRC が参加。「復旧と復興」分科会で ADRC と IRP(国際復興支援プラットフォーム)の活動を紹介。
H21.6.1~	「四川大地震復興支援—こころのケア人材育成プロジェクト」開始（2014 年 5 月 31 日まで、JICA）

H21.6.10~20	中華人民共和国「四川大地震復興支援－こころのケア人材育成プロジェクト」国別研修「災害後のこころのケア」を実施（JICA）
H21.7	2009年笹川日中友好基金事業「災害マニュアル作成支援及びアジア防災減災ネットワーク形成」において、四川省内の復興事業従事者を日本に招き、兵庫県内で災害応急マニュアルの作成を主要な内容とした研修を開催（日本中国アジア経済戦略フォーラム）
H21.7	「学校の子供たちを地震から守る」（防災教育・学校耐震改修プロジェクト）のUNCRD出版物の中国語版を作成（ http://www.hyogo.uncrd.or.jp/jp/publication/report/html ）
H21.7.1~5	UNCRDが災害復旧再建社会政策実施状況視察団（国家発展改革委員会王社会発展局長他 計6名）を受け入れ、貝原支援委員会代表を表敬（7月2日）
H21.7.19	四川大地震1周年メモリアルDRI調査報告会「互助文化の諸相～汶川大地震から災害文化を考える～」（人と防災未来センター）
H21.7.19~22	「四川大地震復興支援－こころのケア人材育成プロジェクト」第1回現地セミナーを成都市にて開催（JICA）
H21.7.19	UNCRDとJICA中国事務所（耐震建築プロジェクト担当）が共同で「学校・住宅等建築物耐震技術セミナー」を北京にて開催
H21.9.10~12	四川省什邡实验中学「防災教育プログラム開学式」に参加、経費150万円贈呈（アジア防災減災ネットワーク運営委員会）
H21.9.14~15	中国四川省綿陽市にて開催された『四川大地震の山村都市の復興に関するワークショップ』にADRCが参加。「阪神・淡路大震災からの復興・教訓」、「サテライト情報の活用」などを発表
H21.9.15	井戸知事が四川省政府を訪問し、後中国四川省地震兵庫県義援金プロジェクト協定書交換式に出席。復興状況説明を踏まえ魏宏副省長と会談し、こころのケアなど復興に向けての支援・協力について意見交換、復興状況現地視察を行う。（兵庫県）
H21.10.15	立命館大学歴史都市防災研究センターとUNCRDが共催の「歴史都市防災シンポジウム（よみうりホール）」にて四川省成都市計画管理局の万課長が講演
H21.10.20	中国大学生《走近日企・感受日本》人防センター見学
H21.19.18~27	中華人民共和国「四川大地震復興支援－こころのケア人材育成プロジェクト」国別研修「（災害）精神保健専門家研修」を開催（JICA）
H21.10.22	日中地方行財政セミナー関係者（中国政府財務部・18名）人防センター視察
H21.10.25~11.21	JICA学校防災研究に中国から4名が特別枠で参加（1ヶ月の研修は主に神戸にてUNCRDとKICが協力して実施）
H21.10.30~31	仮設住宅支援看護師養成プログラムを四川大学と共同で実施（兵庫県立大学地域ケア開発研究所）
H21.11.1	阪神・淡路大震災の発生、被災、復興と防災に関する総合的研究として、7年かけて完成させた「阪神・淡路大震災研究」（神戸大学震災研究会編・全6巻）の中国語版「日本阪神大地震研究」が北京大学出版会から出版された（神戸大学）

H21.11~12月に かけて	中国・四川大地震の被災者約 2000 人の健康状態や生活状況についての調査実施 (5年間追跡調査の2年目)(兵庫県立大学地域ケア開発研究所)
H21.11.8~18	日中アジア経済戦略フォーラムが中国四川省汶川地震被災地幹部研修団を受け入れ、 神戸、新潟、東京で研修 ■ 兵庫県・神戸市表敬、兵庫県防災センター見学、神戸委員会との交流会(9日) 貝原委員会代表を表敬、人と防災未来センター、アジア防災センター、心のケア センター視察、CODEとの交流(10日) 三木 E-Defense、淡路島・野島断層視察(11日) 兵庫県立舞子高校、神戸大学都市安全センター視察(12日)
H21.11.10	中国四川省ブン川地震被災地幹部研修団 人防センター視察
H21.12.2	中国四川馮小華先生等(12名)人防センター視察
H21.12.3~18	中華人民共和国「四川大地震復興支援—こころのケア人材育成プロジェクト」国別研 修「災害後のメンタルヘルスサービス」を実施(JICA)
H21.12.4	中国四川省王氏等(7名)人防センター視察
H21.12.7	JICA 耐震建築人材育成プロジェクトの第1回研修生(四川省建設庁処所を含む計30 名)が UNCRD 兵庫事務所を訪問し、講義を実施
H21.12.10	UNCRD 兵庫事務所研究員が四川省政府と UNICEF 中国が開催した「復興における 子どもとジェンダー視点」ワークショップのジェンダー部門を担当し、郷・鎮政府へ の講義を実施
H21.12.11	中国四川医療訪問団(7名)人防センター視察 中国四川省交通局(6名)人防センター視察
H21.12.22	「阪神・淡路大震災研究」(神戸大学震災研究会編・全6巻)の中国語版「日本阪神 大地震研究」が北京大学出版会から出版されたのを記念して、北京外国語大学内の北 京日本学研究中心で神戸大学関係者が出席して出版記念会が開催された
H22.1.16	国際復興フォーラム2010「しなやかな復興から持続的発展へ」にて四川省政府関係者 を招聘し、復興状況について報告(IRP)
H22.1.19~24	中華人民共和国「四川大地震復興支援—こころのケア人材育成プロジェクト」第2回 現地セミナーを成都市にて実施(JICA)
H22.1.24	兵庫県、神戸学院大学等が、シンポジウム「阪神・淡路大震災と四川大地震からの教 訓～国際社会の防災をリードする若者たち～」を開催
H22.3.11~16	人と防災未来センター(室崎益輝上級研究員、他3名)が四川地震被災地復興状況調 査を実施
H22.3.18~23	仮設住宅支援看護師養成プログラムのフォローアップワークショップを四川大学と 共同で実施(兵庫県立大学地域ケア開発研究所)
H22.3.25	四川省震災復興・地域開発訪日団(財団法人日中経済協会受け入れ)が UNCRD を訪 問し、講義と意見交換を実施
H22.3.27	中国消防局長等(8名)人防センター視察

H22.3.31	中国四川省観光局（14名） 人防センター視察
H22.4.20	JICA 耐震建築人材育成プロジェクトの第2回研修生（30名）へのUNCRD職員による講義を実施
H22.5.23~27	IRP事務局が四川大地震の復興状況について現地調査を実施
H22.5.28~29	UNCRD兵庫事務所研究員が「持続可能な開発のための教育」都江堰国際フォーラム（成都市教育委員会、都江堰市、UNESCO、南西大学主催）へ参加
H22.1~	中国・四川大地震の被災者の健康ニード調査を実施（兵庫県立大学地域ケア開発研究所）
H22.6.20~26	四川省成都市派遣 防災実務者研修組（7名）受け入れ、神戸・三田・淡路島・京都・東京で研修（日本中国アジア経済戦略フォーラム）
H22.7.12~18	四川省地震被災地高校生防災リーダー訪日団（引率教師1名、高校生7名）招待（アジア防災・減災ネットワーク/CODE共催）
H22.8.8~13	中国全国応急办公害高級幹部セミナー（主催：中国人民大学）へ講師陣を派遣（日本アジア経済戦略フォーラム）
H22.9.17~22	中華人民共和国「四川大地震復興支援一心のケア人材育成プロジェクト」第3回現地セミナーを甘肅州天水市にて実施（JICA） 震災・学校支援チーム（EARTH）員及び兵庫県こころのケアセンター職員をセミナーへ派遣（兵庫県）
H22.9.22~23	中国成都市で開催された四川省等主催の「5.12 汶川大地震復興と大災害管理に関する国際シンポジウム」に参加し、日本の災害対応、復興支援施策について発表（ADRC）
H22.12月下旬	中国・四川大地震の被災者の3年目の健康調査実施（兵庫県立大学地域ケア開発研究所）
H22.12.1~10	中華人民共和国「四川大地震復興支援一心のケア人材育成プロジェクト」国別研修「精神保健コース」実施（JICA）
H23.1.5~10	中華人民共和国「四川大地震復興支援一心のケア人材育成プロジェクト」第4回現地セミナーを成都市にて実施（JICA）
H23.1.12	国際復興フォーラム2011「よりよい復興に向けた事前復興計画」にて、「四川大地震復興状況報告書」の概要について報告（IRP）
H23.2.21~25	四川省人民政府、四川省社会科学院、水磨鎮政府、映秀鎮政府、都江堰市、北川县政府、漢旺鎮政府を訪問、震災復興に関するヒアリングを行う（中国・四川大地震復興支援 兵庫・神戸委員会）
H23.3.7~9	四川省社会科学院、中国社会科学院（5名）が訪日し、兵庫県内を視察 ■ 人と防災未来センター視察、JICA兵庫表敬、孫中山記念館、復興現地（長田区）、心のケアセンター視察、（8日） 貝原兵庫神戸委員会代表表敬、舞子高校視察（9日）
H23.3末現在	これまでに1,829の関連情報と51の関連地図を掲載（OCHA）

中国・四川大地震復興支援 兵庫神戸委員会設置要綱

1 趣旨

中国・四川大地震の被災地の復旧・復興にあたり、阪神・淡路大震災の経験と教訓を踏まえた知見の提供など、中国政府等の要請に応じて具体的な支援内容を検討、調整、実施するため、関係機関・団体の構成による「中国・四川大地震復興支援 兵庫神戸委員会」（以下「委員会」という。）を設置する。

2 委員会の事務・事業等

委員会は、設置目的を達成するため、次の各号に掲げる事項について協議し、必要な対策を実施するものとする。

- (1) 被災地ニーズの把握と支援内容の検討
- (2) 支援の実施方法の検討・調整
- (3) 中国側、国・関係機関、NGO等との連絡・調整
- (4) その他委員会の設置目的を達成するために必要なこと

3 構成

- (1) 委員会は、別表1に掲げる機関・団体（以下「構成機関等」という。）をもって構成する。
- (2) 委員会に代表（以下「代表」という。）を置き、財団法人ひょうご震災記念21世紀研究機構（以下「機構」という。）の理事長をもって充てる。

4 運営委員会

- (1) 委員会に、構成機関等の代表者等をもって組織する運営委員会を置き、委員会の業務を運営管理する。
- (2) 運営委員会は、代表が主宰する。

5 運営委員会の招集

運営委員会の会議は代表が招集する。また、運営委員会には、必要に応じて構成機関等以外の者の出席を求めることができる。

6 幹事会の設置

- (1) 運営委員会の協議事項に関し、幹事会を置く。
- (2) 幹事会は、別表2に掲げる者をもって構成する。

7 事務局

委員会の事務局は、財団法人ひょうご震災記念 21 世紀研究機構に置く。

- (1) 事務局長は、機構の副理事長をもって充てる。
- (2) 事務局の経理担当者は、機構の管理部長をもって充てる。
- (3) 事務局職員は、必要に応じて、構成団体から派遣する。

8 設置期間

委員会の設置期間は、設立の日から 1 年間とする。ただし、この期間は、運営委員会での協議により、延長することができる。

9 その他

この要綱のほか、必要な事項は別に定める。

(附則)

この要綱は、平成 20 年 6 月 10 日から施行する。

委員会を構成する機関・団体名

兵庫県

神戸市

ひょうご震災記念 21 世紀研究機構

人と防災未来センター

兵庫県こころのケアセンター

神戸都市問題研究所

アジア防災センター (ADRC)

地震防災フロンティア研究センター (EDM)

国際防災復興協力機構 (IRP)

国連 国際防災戦略事務局 (UN/ISDR) 兵庫事務所

JICA兵庫

国際連合人道問題調整事務所 (OCHA) 神戸

国際連合地域開発センター (UNCRD) 防災計画兵庫事務所

兵庫県国際交流協会

神戸国際協力交流センター

神戸大学

兵庫県立大学地域ケア開発研究所

神戸華僑総会

日本華人教授会議

孫中山記念会

日本中国アジア経済フォーラム

神戸商工会議所

ひょうご震災記念 21 世紀研究機構と四川省社会科学院 との学術交流合意書

日中両国の社会科学分野及び災害学分野の研究交流を強化するため、ひょうご震災記念 21 世紀研究機構（以下「甲」という。）と四川省社会科学院（以下「乙」という。）は、友好的な協議に基づき、次のことについて合意することとする。

第 1 条 甲、乙は、協議により、次の事業を実施することとする。

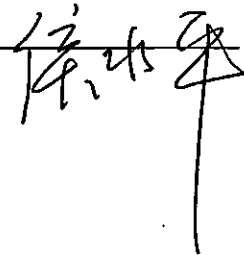
- (1) 学者間の交流事業
- (2) 共同研究、現地調査、資料収集の協力事業
- (3) 研究成果の共同出版事業
- (4) その他、両者の研究に資する事業

第 2 条 前条の実施については、互恵の原則のもと、対等の立場で取り組むこととし、その負担についても同様とする。

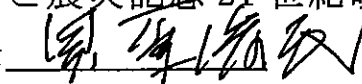
第 3 条 本合意以外の事項については、別途、甲、乙の協議により、定めることとする。

本合意書は、正副 1 通作成し、署名のうえ、それぞれが保有することとする。

四川省社会科学院
院 長



ひょうご震災記念 21 世紀研究機構
理事長



2011 年 5 月 8 日